情報解禁日時：2026 年 11 月 10 日午後 2 時

報道関係各位

プレスリリース

2026 年 11 月 10 日

株式会社マルチブック

グローバル AI ERP「multibook」、会計データを自然な言葉で照会・分析できる「AI チャット機能」を提供開始

「今月の PL を教えて」と聞くだけで、経営状況を手軽に把握。13 言語対応で海外拠点のデータ確認もスムーズに



グローバル AI ERP「multibook」を提供する株式会社マルチブック（本社：東京都品川区、代表取締役社長：渡部 学）は、multibook に登録された会計データを自然な言葉で照会・分析できる「AI チャット機能」を、2026 年 11 月 1 日にリリースしました。

本機能により、経営者や経理・財務担当者は、「今月の PL を教えて」「タイ拠点の売掛金残高を確認したい」と質問するだけで、必要な会計情報を確認できます。複数の画面や帳票の操作を減らし、経営管理・経理業務の効率化を支援します。

日本語・英語を含む 13 言語に対応し、質問した言語で回答します。本機能は、AI-OCR による契約書自動読取、仕入先請求書の AI 自動仕訳に続く、AI 活用機能拡充の第 3 弾です。

■開発背景

海外拠点を持つ企業では、経営者や本社の管理部門が各拠点の財務状況を把握するため、現地担当者への確認や帳票の収集が必要になるケースがあります。

ERP にデータが蓄積されていても、必要な情報の確認には画面操作や帳票の知識が求められ、経理・財務担当者による情報収集・集計も負担となっています。

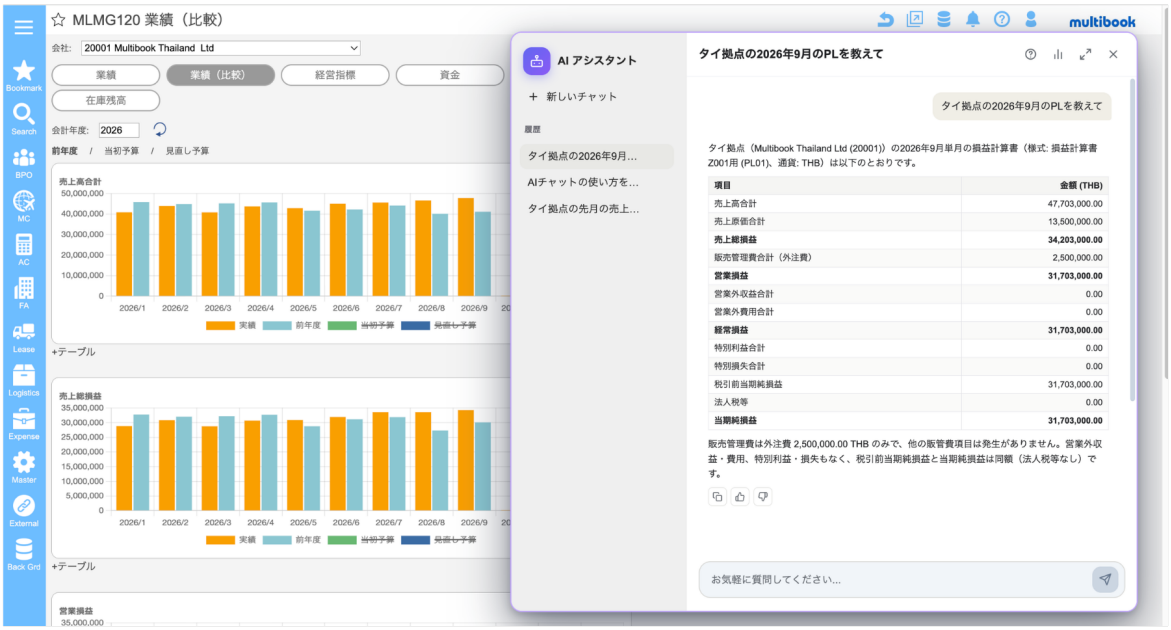
マルチブックはこうした課題に対応するため、自然な言葉で会計データを照会・分析できる AI チャット機能を開発しました。

■機能概要

いつでも呼び出せる AI チャット

multibook の画面右下に表示されるアイコンから、どの画面でも AI チャットを呼び出せます。現在の画面を閉じずに右側へチャットを表示でき、業務を進めながら必要な会計情報を確認できます。使い方

を質問すると、対応機能や質問例を案内します。



業績画面を開いたまま、右側に AI チャットを表示した例

会計データを自然な言葉で照会・分析

AI チャット機能は、multibook に登録された会計データを参照し、質問に応じた情報を検索・集計・表示します。

【質問例】「タイ拠点の 2026 年 9 月の PL を教えて」「先月と比較して売上はどれくらい増減した？」「直近 12 カ月の売上推移を教えて」「支払期日を超過している買掛金を取引先別に教えて」「特定の取引先に関する仕訳を一覧表示して」

【対応内容】

- 財務状況：PL・BS、前月比・前年同月比
- 経営分析：12 カ月推移、ROA、流動比率
- 試算表：勘定科目別の借方・貸方・残高
- 債権債務：取引先別残高、支払期日超過の買掛金

- 元帳・仕訳：総勘定元帳、仕訳検索、売上・仕入仕訳

これらは一例で、ほかにもさまざまな使い方ができます。会社名や期間を省略した場合は、現在選択している会社や直近の期間などに基づき回答し、曖昧な条件は追加質問で確認します。

13 言語に対応し、質問した言語で自動的に回答

AI チャット機能は、multibook 標準画面の 12 言語にポルトガル語を加えた 13 言語に対応しています。質問した言語を自動判別して同じ言語で回答し、切り替え操作は不要です。

対応言語：日本語、英語、タイ語、ベトナム語、韓国語、ミャンマー語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語（繁体字）、中国語（簡体字）、インドネシア語、ポルトガル語

2026 年 9 月の発表時点では日本語・英語の 2 言語を予定していましたが、13 言語に拡大してリリースしました。

確認作業を「スキル」として登録・再利用

AI チャットで行った確認作業は「スキル」として登録・再利用できます。例えば毎月の PL 確認や取引先別買掛金残高の確認を登録しておけば、次回以降、同様の確認作業を簡単に実行できます。会話はセッションごとに独立して管理し、過去のやりとりも個別に確認できます。



使い方をたずねると、対応できる内容と質問の例をチャット上で案内します。

■本機能の特徴

- 【経営情報へのアクセスを容易に】複雑な画面操作を覚えずに、経営者自身が必要な情報を確認でき、迅速な意思決定を支援します
- 【グローバル経営管理を円滑に】本社と海外拠点がそれぞれの言語で同じ会計データを参照し、情報共有の負担を軽減します
- 【ERP に蓄積された実データを直接活用】汎用 AI サービスへデータを個別にアップロードする必要がなく、既存画面・帳票による詳細確認と組み合わせて利用できます。また、ユーザー権限の範囲内のデータだけを参照して回答します

■今後の展望

マルチブックは、AI チャットを会計データの照会・分析にとどまらず、ERP 上の業務を支援するインターフェースへ発展させることを目指します。現在、以下の機能を検討しています。

- 請求書を AI チャットに添付して仕訳を自動起票する機能
- 伝票・マスターの登録・編集などをチャット上で実行できる仕組み
- 各国の会計・税務要件に基づく仕訳チェックの支援

※いずれも構想・検討段階であり、提供の有無・内容・時期は未定です。

■グローバル AI ERP 「multibook」概要

「multibook」は、海外拠点を持つ企業の経営管理を支援するグローバル AI ERP です。多言語・多通貨・複数帳簿に対応し、会計、販売・購買・在庫、固定資産、リース資産管理を一元的に管理できます。

契約書の AI-OCR 読取、仕入先請求書の AI 自動仕訳、今回の AI チャットなどの業務効率化機能を提供しています。日本の新リース会計基準にも対応し、40 カ国・950 社以上の導入実績があります。

対応言語：標準画面 12 言語／AI チャット機能 13 言語

URL：https://www.multibook.jp/

■株式会社マルチブック 会社概要

会社名：株式会社マルチブック

代表者：代表取締役社長 渡部 学

設立：2000 年 9 月

本社：東京都品川区西五反田 1-1-8 NMF 五反田駅前ビル 5 階

海外拠点：シンガポール・タイ・フィリピン

事業内容：グローバル AI ERP サービス「multibook」等の企画・開発・提供

情報解禁日時：2026 年 11 月 10 日午後 2 時

URL：https://www.multibook.jp/

本件に関するお問い合わせ先
株式会社マルチブック　梅野
TEL：090−5209−4857　MAIL: haruka.umeno@multibook.co.jp